教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書
（令和７年度対象）

令和８年９月

棚倉町教育委員会

目　　　次

Ⅰ　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

Ⅱ　点検及び評価の実施方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

Ⅲ　施策評価の基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

Ⅳ　棚倉町教育委員会施策評価一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

Ⅴ　点検・評価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

Ⅵ　学識経験者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２

Ⅰ　はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条の規定に基づき、教育委員会自らが点検及び評価を行い、その評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされていることから、棚倉町教育委員会の権限に属する事務の管理執行の状況について点検評価を行った結果を取りまとめたものです。

教育委員会は、町長から独立した立場で教育行政における学校教育や社会教育など、広範かつ専門的な教育行政事務を管理及び執行するために設置された合議制の機関（行政委員会）です。

そのため、棚倉町教育委員会では、この点検結果や評価及び学識経験者からの意見をもとに、計画的かつ効率的な教育行政を推進してまいります。

【参　考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ　点検及び評価の実施方法

棚倉町振興計画において、４つの施策・１７の主要施策を掲げています。点検及び評価にあたっては、事業の実績を基に進捗状況を担当課が評価し、改善が必要な場合はその方策を示します。そして、学識経験者のご意見をいただき、総合的な評価を行います。

【学識経験者】　（順不同・敬称略）

氏　　名	所　　属
渡 辺　智 夫	棚倉町商工会　副会長
戸井田　明子	倉美館運営協議会　会長
塩 田　綾 子	棚倉中学校運営協議会　会長

Ⅲ　施策評価の基準

各施策の点検評価は、次の３区分により達成度の評価を行う。

Ａ　施策、事業の達成度、進捗が順調である
- 事業の目的に対し、進捗や実績の達成状況が８０％以上
- 達成度が非常に高い

Ｂ　施策、事業の達成度、進捗がおおむね順調である
- 事業の目的に対し、進捗や実績の達成状況が６０％以上から８０％未満
- 達成度が高い

Ｃ　施策、事業の達成度、進捗が順調ではない
- 事業の目的に対し、進捗や実績の達成状況が６０％未満である
- 達成度が低い

○評価は、事業の進捗や実績等を総合的に評価しています。

Ⅳ　棚倉町教育委員会施策評価一覧

施　策　名			施策評価
1　学校教育			A
主要施策名	評価	記載ページ	担当課
①学校の適正配置と学校施設・設備の充実	A	5	学校教育課
②教育内容の充実	A	6	学校教育課
③地域や高校との連携強化	A	7	学校教育課
④通園・通学の支援	A	8	学校教育課

施　策　名			施策評価
2　生涯学習			A
主要施策名	評価	記載ページ	担当課
①学習機会の充実	A	9	生涯学習課
②青少年の健全育成	B	１０	生涯学習課
③図書館の充実と読書活動の推進	A	１１	生涯学習課
④社会教育団体等の育成支援	B	１２	生涯学習課

施　　策　　名	施策評価
３　文化芸術・文化財	A

主要施策名	評価	記　載 ページ	担　当　課
①文化団体等の活動支援	A	１３	生涯学習課
②文化芸術の充実	A	１４	生涯学習課
③文化施設の充実	B	１５	生涯学習課
④文化財の保存・活用	A	１６	生涯学習課
⑤歴まち計画等に基づく棚倉城跡の 保存・活用の推進	A	１７	生涯学習課

施　　策　　名	施策評価
４　スポーツ	A

主要施策名	評価	記　載 ページ	担　当　課
①多様なスポーツ活動の普及促進	A	１８	生涯学習課
②スポーツ施設の充実	A	１９	生涯学習課
③スポーツ団体等の活動支援	B	２０	生涯学習課
④スポーツによる関係人口の拡大	B	２１	生涯学習課

Ⅴ　点検・評価表

令和８年度点検・評価表（令和７度事業実施状況）

施　策　名	学校教育	担当課	担当課 評　価
主要施策名	学校の適正配置と 学校施設・設備の充実	学校教育課	A
第７振興計画における事業目的と概要	・教育環境の質の向上と子どもたちの学びの保障を図るため、幼稚園、小学校の訂正配置について検討する。 ・安全・安心・快適な教育環境づくりに向け、計画的な学校施設の整備を行う。 ・デジタル機器の計画的更新をはじめ、教育内容の充実に即した設備や教材・教具の整備を図ります。		
令和７年度事業実施状況	・地域説明会を５回、棚倉町立学校統合準備委員会及び棚倉町立学校統合準備庁内検討委員会を各４回開催して統合について検討実施。 ・各小・中学校の施設について計画的に改修工事を施行 ・学習用タブレット端末機の購入		
成果実績	・施設一体型の義務教育学校の令和１４年度開校、近津幼稚園を令和１０年度に棚倉幼稚園に統合、社川幼稚園は出生者数を見極めながら検討していくことを確認 ・棚倉中学校、棚倉小学校の体育館照明改修工事 高野小学校体育館天井等改修工事 ・学習用タブレット端末機の購入		
評価の内容	・小中学校や幼稚園の統合について方向性を決めることができた。 ・計画的かつ効率的に進めた結果、主な実績の他、社川小学校 FF 暖房機更新工事や町内小学校プール循環浄化装置修繕工事なども行い、整備を進めた。 ・R2 年度に整備したタブレット端末の更新時期に合わせ GIGA スクール構想第Ⅱ期を念頭に子どもたちの学びを止めない観点から予備機も併せ全 1,019 台を購入。		
改善の方策等	・統合に向けた進捗状況について、丁寧な周知・広報が必要。 ・棚幼ウッドデッキ改修、社小のトイレを洋式化など修繕を進めているが、今後社小・近小の体育館 LED 化等を計画的進めながら、急な不具合にも迅速に対応し安全・安心・快適な教育環境づくりに務める。 ・タブレット端末は計画的に更新・購入し、アプリケーションについても幼小中それぞれに適したソフトウエアを整備しているが、破損等により不足が生じないよう児童・生徒のタブレット取扱について指導を促す。		

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

施　策　名	学校教育	担当課	担当課評　価
主要施策名	教育内容の充実	学校教育課	A
第７振興計画における事業目的と概要	・人間形成の基礎を培う幼児教育の重要性を踏まえ、幼稚園における教育内容の充実を図る。 ・確かな学力と幅広い知識・職業実践力の育成に向け、キャリア教育推進プラン等を毎年度見直しながら、学力向上に取り組むとともに、職業体験学習（チャレキッズ等）などと通してキャリア教育の充実を図る。 ・豊かな心の育成に向け、道徳教育や人権教育、福祉教育、体験活動、郷土学習の充実を図る。 ・健やかな体の育成に向け、体力・運動能力の実態把握と必要な指導の推進、学校保健、学校給食・食育の充実を図る。 ・グローバル化や地球環境問題に対応できる人材、デジタル人材の育成に向け、外国語教育や環境教育、デジタル化に即した教育の充実を図る。 ・支援を必要とする子どもや保護者のニーズを踏まえながら、「学びの多様化学校」など、子どもの多様性に応じた居場所と学びの保障の確保に努める。 ・教職員の働き方改革を推進し、教育の質の向上と、健康で活力のある学校づくりを図る。		
令和７年度事業実施状況	・「棚倉町架け橋期カリキュラム開発検討委員会」を設置 ・キャリア教育意識調査の実施と活用。 棚倉小学校：全国小学校キャリア教育研究協議会福島大会開催。 ・R7.4.1 学びの多様化学校「棚倉中学校分教室」を設置		
成果実績	・各小学校区毎の「架け橋期カリキュラム」を策定。 ・棚倉小学校：全国小学校キャリア教育研究協議会福島大会 ・棚倉中学校:第 18 回キャリア教育優良学校・文部科学大臣表彰を受賞 ・分教室は７名在籍。出席率 80%以上が３名、70%以上が１名。		
評価の内容	・「棚倉町架け橋期カリキュラム開発検討委員会」を開催しながら、併せてコーディネーター養成研修園内研修リーダー育成研修を受講し、就学支援シートによる幼・小接続と幼稚園教育の充実と質の向上を図っている。 ・平成 25 年からの実績（小学校でのチャレキッズを中学校の職場体験まで系統的に行ってきたこと、自分発見シートやキャリア・パスポートの活用などをとおして小中の円滑な接続） ・完全な不登校状態であった生徒も、分教室が設置されたことにより登校可能となり、生活リズムの改善や新たな学びの意欲に繋げることが出来た。		
改善の方策等	・各小学校区毎の「架け橋期カリキュラム」が令和８年度から本格的に実施となるため、今後も検討委員会を開催し実施状況や成果を見ながらカリキュラムをブラッシュアップし幼・小の連携を深める		

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

施　策　名	学校教育	担当課	担当課評　価
主要施策名	地域や高校との連携強化	学校教育課	A
第７振興計画における事業目的と概要	・地域とともにある学校づくりに向け、地域における人材の育成・確保を進めながら、コミュニティ・スクールの取り組みの充実を図る。 ・部活動の地域移行について、指導者や運営団体等の確保・育成等を進め、段階的に取り組む。 ・幼稚園・小中学校と県立修明高等学校との連携を強化し、子どもたちの体験活動の機会の充実を図る。		
令和７年度事業実施状況	・各学校運営協議会において、協議会を開催 ・部活動の地域移行については、棚倉中学校に指導員を３名配置。 ・校長・園長会で修明高校教諭による講話、授業参観を実施。 ・棚倉幼稚園では、修明高校との連携協力による事業を実施		
成果実績	・学校運営協議会の開催（棚倉小３回、社川小４回、高野小３回、近津小３回、棚倉中２回） ・男女ホッケー部、サッカー部に外部指導員をそれぞれ配置し、顧問の負担軽減を図った ・修明高校でＩＣＴ活用（ロイロノート）の取り組みを実際に参観したほか、棚倉幼稚園では、修明高校と落花生の苗植えや木育教室など実施した。		
評価の内容	・保護者及び地域住民等と教職員との連携を強化しながら、学校運営を行った。さらに他分野やボランティア活動など各教育活動でも協力体制ができた ・男女ホッケー部、サッカー部については顧問の先生の負担軽減になったほか、外部指導員により生徒はより専門的な指導を受けることが出来た。		
改善の方策等	・学校運営協議会の開催だけにとどまらず、様々な活動を通して地域と共に学校運営をしているが、内容・成果には差があり、さらに発展させることが出来る学校もある。 ・部活動については、外部指導員だけでなく、地域移行に向けて更なる協議が必要。 ・保・幼・小・中・高のつながりのある連携事業の検討		

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

施　策　名	学校教育	担当課	担当課 評　価
主要施策名	通園・通学の支援	学校教育課	A
第７振興計画における事業目的と概要	・明日を拓く人材の育成に向けた総合的な学校教育環境の充実を図る。 ・子どもたちが安全に安心して通園・通学できるよう支援する。		
令和７年度事業実施状況	・通学を支援するため、小学校４校、中学校１校、幼稚園１園（高野地区のみ）に９台のスクールバスを運行した。運行便数は登校時が各校・園１便、下校時が小学校２便、中学校１便、幼稚園１便運行した。 ・通園を支援するために幼稚園３園に４台の幼稚園送迎バスを運行した。運行コースは棚倉幼稚園２コース、社川幼稚園、近津幼稚園は各１コース運行した。 ・安全安心な運行のため幼稚園送迎バス１台を更新した。 ・自転車通学生徒３人にヘルメットを支給した。		
成果実績	・スクールバス利用実績は以下のとおり。 社川小　　２５人利用（全児童の２２．１％） 高野小　　４人利用（全児童の６６．６％） 近津小　　２８人利用（全児童の３０．１％） 棚倉小　　３１人利用（全児童の　８．５％） 棚倉中　１１３人利用（全生徒の３２．６％） ・幼稚園送迎バス利用実績は以下のとおり。 社川幼　　１２人利用（全園児の３２．４％） 近津幼　　１７人利用（全園児の５０．０％） 棚倉幼　　５６人利用（全園児の４２．４％） ・年間走行距離はスクールバスが１０６，９０１㎞、幼稚園送迎バスが２３，１３１㎞であった。		
評価の内容	スクールバスの利用対象者について、小学生は通学距離が概ね片道２㎞以上の児童、中学生は概ね片道４㎞以上としており、文部科学省が示す通学距離の目安は小学校が４㎞、中学校が６㎞であり、きめ細かな支援を実施している。		
改善の方策等	令和３年度から全町を対象に運行しているが、中学生の帰り（部活後）の便の乗車数が少なく、必要性の検討も必要である。 また、運行を委託する事業者のドライバーの高齢化もあるため、持続可能な運行体制の維持強化を検討していく必要がある。		

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">生涯学習</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">学習機会の充実</td><td>生涯学習課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・常に社会環境の変化や町民の学習ニーズを的確に把握するとともに学習成果の地域社会への還元を見据え、修道館大楽の講座をはじめ、魅力ある学級・講座、関連事業の企画・開設を図る。
・学習活動等を指導・支援するボランティアの確保・活用のため、生涯学習人材バンクの充実を図る。
・本町ならではの生涯学習関連施策を総合的・計画的に進めるため、生涯学習推進計画の策定について検討する。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・町広報、町ＨＰ、LINE を利用した生涯学習情報の提供
・社会教育指導員による各種講座の開催
・生涯学習人材バンクを設置し、自らの経験、知識及び特技などを学校や地域活動等に生かしてみたいという人材を登録し、その情報を提供し、生涯学習を支援した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td colspan="2">Ｒ７</td></tr>
<tr><td>修道館大楽参加者（人）</td><td>６９
(延べ 572)</td><td>７１
(延べ 617)</td><td colspan="2">７７
(延べ 597)</td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・生涯学習情報については、各種講座の募集について町ホームページや広報誌、LINE を利用して周知を行った。
・社会教育指導員１名を配置して、各種講座への指導助言を行った。
・演歌講座、俳句講座、ハンドメイド講座、古文書講座、チャレンジ講座を実施した。
・生涯学習人材バンクへの令和７年度の登録者数は、２５団体と個人登録が２１名で、第 48 回文化祭、放課後子ども教室で活動した。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・生涯学習の推進をするために、各種講座の内容を検討し、オンライン配信等、参加者が気軽に参加できるよう講座の内容を工夫していく。
・講座の受講者について自主的な活動へ移行できるよう誘導する方策を検討していく。
・広報（ＨＰ）等を利用した人材の募集を図り、人材バンクの見直しを図る。</td></tr>
</table>

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">生涯学習</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">青少年の健全育成</td><td>生涯学習課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・明日を担う青少年の健全育成に向け、青少年育成町民会議による各種活動 の充実をはじめ、家庭教育の機会の提供、青少年の体験・交流活動への参加 促進等に努める。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・チャレキッズの開催
・青少年の主張発表会の開催（オンライン配信実施）
・二十歳のつどいの開催</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td><td></td></tr>
<tr><td>チャレキッズ参加児童数（人）</td><td>延べ 302</td><td>延べ 357</td><td>延べ 362</td><td></td></tr>
<tr><td>二十歳のつどい参加者数</td><td>124</td><td>115</td><td>124</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・青少年の主張発表会は、青少年が日頃考えている様々な事柄についての発表の場として棚倉町図書館を会場に聴講とオンライン配信を併用して開催した。
・二十歳のつどい実行委員会を組織し、式典への積極的な参加を図ることができた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・「チャレキッズ」については、小学校５・６年生を対象としており、それぞれの発達段階に合った内容になるよう、内容の充実を図っていく。
・青少年の主張については、より多くの方に聴講してもらえるよう周知方法を工夫していく。
・二十歳のつどい実行委員の意見を反映し、式典の内容やスケジュールを調整する等より良い式典になるよう努めていく。</td></tr>
</table>

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">生涯学習</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">図書館の充実と読書活動の促進</td><td>生涯学習課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・図書館について、町民ニーズに即した蔵書の充実や学校図書室との連携強化、施設・設備の適切な維持管理を行い、利用を促進する。
・子ども読書活動推進計画を見直し、子どもたちが本に親しむ機会の充実に向けた取り組みを進める。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・町立図書館の指定管理者による読書啓発、読書感想画展、図書館はたのしいんジャーの開催
・修明高等学校と連携した高校生図書ボランティア活動
・会議室等使用（貸館）の許可及び使用料の徴収に関する業務の実施
・利用者の利便性を図るため施設の維持補修を実施</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td colspan="2">Ｒ７</td></tr>
<tr><td>図書貸出数（冊）</td><td>31,604</td><td>30,398</td><td colspan="2">28,750</td></tr>
<tr><td>図書館利用者数（人）</td><td>39,028</td><td>41,207</td><td colspan="2">42,003</td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・町立図書館の指定管理については、町民サービスの向上と新たな事業展開をはかっており、図書の貸出冊数は減少したが、利用者数は前年度より増加している。
・マンガや希望図書の導入を実施し利用者の声を生かせた。
・幼・小の子どもたちを対象とした図書館見学会を実施。
・図書室の利用に加えて、集会施設としての会議室は様々な文化活動、学習活動の場として利用されている。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・引き続き希望図書のアンケートを行うなど、読書者数を増やす取り組みを指定管理者と連携して行っていく。
・施設の改修については、年次計画に基づいて実施していく。
・地域おこし協力隊（司書）と協力し、利用者の更なる利便性の向上を図る。</td></tr>
</table>

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

施　策　名	生涯学習	担当課	担当課評　価
主要施策名	社会教育団体等の育成支援	生涯学習課	B
第７振興計画における事業目的と概要	・各種学習活動等の活発化を促すため、社会教育団体や自主的な学習団体・サークルの育成を図る。		
令和７年度事業実施状況	・各団体への活動費助成 ・町施設（文化センター、図書館、体育館等）の使用料の減免 ・各社会教育団体運営へのサポート及び指導 ・社会教育団体主催のイベントや大会等のサポート		
成果実績	○社会教育団体 棚倉町青少年育成町民会議、東白川ＰＴＡ連合協議会、御枡明神保存会、棚倉町文化団体連絡協議会（24 団体）、八槻都々古別神社御田植保存会、倉美館運営協会、棚倉スポーツクラブ（12 競技）、棚倉町スポーツ協会（15 団体）、子ども会育成会、幼・小・中ＰＴＡ（父母と教師の会を含む）		
評価の内容	・各団体においても、自主的に運営されており、地域文化の向上やスポーツの振興につなげることができている。 ・学習活動（講演会など）、スポーツ活動（各種スポーツ活動、大会開催など）、文化芸術活動（演劇、音楽など）、・ボランティア活動（人材バンクなど）の活動の支援をした。 ・町が把握できていない団体もあり、必要な支援ができていない。		
改善の方策等	・町内で組織・活動されている社会教育団体の掘り起こしをし、幅広い年代の町民が学習や芸術、文化、スポーツ、まちづくりなどの活動ができる環境の整備を図る。 ・社会教育団体の新規立ち上げについてアドバイスや指導を行う。 ・広報（ＨＰ）等を利用し、社会教育団体の活動内容について情報発信を行う。		

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">文化芸術・文化財</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">文化団体等の活動支援</td><td>生涯学習課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・町民の自主的な文化芸術活動の活発化に向け、文化団体連絡協議会や加盟団体の活動支援を行う。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・文化存団体への活動費助成
・第４８回文化祭の開催
・町広報、町ＨＰを利用した文化活動情報の提供</td></tr>
<tr><td rowspan="2">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td><td></td></tr>
<tr><td>文化団体連合会加入団体数</td><td>２５団体</td><td>２４団体</td><td>２４団体</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・文化団体連絡協議会主催の第４８回文化祭を開催し、個別、合同開催で２３団体が参加。
・第６４回福島県芸術祭に棚倉町から棚倉マンドリンクラブが参加し、出演サポート、芸術祭運営の協力を行った。
・文化団体連絡協議会の加入団体を人材バンクへ登録し、活動の幅を広げられるよう活動の支援をした。
・棚倉町文化団体連絡協議会に加入されていない文化団体への加入推進を実施した。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・文化団体連絡協議会未加入団体への加入の推進。
・町内で組織されている文化団体の掘り起こしをし、幅広い年代の町民が気軽に文化芸術にふれ、活動できる環境の整備を図る。
・文化団体の新規立ち上げについてアドバイスや指導を行う。
・広報（ＨＰ）等を利用し、文化活動内容の情報発信を行う。</td></tr>
</table>

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">文化芸術・文化財</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">文化芸術の充実</td><td>生涯学習課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・多様な文化芸術を鑑賞する機会と活動成果を発表する機会の充実に向け、秋の文化祭や芸術鑑賞教室等の魅力ある文化行事の企画・開催を図ります。
・文化センター（倉美館）において、幅広い年齢層に向けた魅力ある自主事業が行われるよう、倉美館運営協会などへ支援を行います。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・幼稚園、小学校、中学校の芸術鑑賞教室を開催
・倉美館運営協会の活動支援
・自主事業のイベント開催</td></tr>
<tr><td rowspan="4">成果実績</td><td colspan="2">項目(単位)</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td></tr>
<tr><td colspan="2">芸術鑑賞参加人数（人）</td><td>1,765</td><td>1,392</td><td>1,360</td></tr>
<tr><td colspan="2">倉美館運営協会事業数及び公演回数</td><td>事業：1
回数：1</td><td>事業：1
回数：1</td><td>事業：3
回数：4</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化団体施設利用回数（回）</td><td>12</td><td>15</td><td>24</td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・幅広い年齢層にあったジャンルの自主事業を開催し、多くの来場者を呼び込むことが出来きた。
・芸術鑑賞では学校（園）の要望に沿った公演を実施し、子供たちが文化芸術に触れる機会を体験し、文化芸術の振興に努められた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・音楽、演劇、古典芸能等のジャンルごとに新規の公演を開拓し多くの方々が鑑賞してもらえる公演を企画していく。
・子供たちの教養を広げられる芸術公演を検討する。</td></tr>
</table>

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">文化芸術・文化財</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">文化施設の充実</td><td>生涯学習課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・本町の文化芸術活動の拠点として、文化センターの施設・設備の維持管理や改修を計画的に進めます。
・周辺自治体と連携し、文化施設の広域利用について検討を進めていきます。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・文化センターホールの舞台等の改修工事を実施。
・芸術鑑賞を他町村と連携開催</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td colspan="2">項目(単位)</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td></tr>
<tr><td colspan="2">維持管理費等（千円）</td><td>252,363</td><td>545,580</td><td>360,625</td></tr>
<tr><td colspan="2">周辺自治体と連携した行事・集会の開催（回）</td><td>0</td><td>1</td><td>9</td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・長寿命化計画によりホール内部照明の LED 化や、舞台機構、照明設備の改修工事を実施し施設の機能回復、ライフサイクルコストの節減が図られた。
・文化センターにおいて芸術鑑賞教室を開催し鮫川村小・中学校の生徒が参加し広域利用に努められた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・建物、設備関係の法定耐用年数を考慮し修繕計画をたて、実施計画に計上していく。
・継続的に鮫川村と芸術鑑賞を協力し開催していくが、併せて他町村との連携拡大も検討していく。</td></tr>
</table>

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">文化芸術・文化財</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">文化財の保存・活用</td><td>生涯学習課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・有形文化財や天然記念物等について、管理者等と連携し、適正な保存・活用を図る。
・無形文化財の保存・伝承に向け、保存団体の活動や後継者の育成を支援する。
・多くの人に歴史文化資源にふれてもらうため、文化財の展示事業などを実施する。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・八槻家住宅及び棚倉町茶室の活用と管理
・城下町くらしの資料館の開設及び町文化財展の開催
・民俗芸能保存団体への活動費助成
・町指定文化財の指定（3 件）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td colspan="2">Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td></tr>
<tr><td>指定文化財件数（件）</td><td colspan="2">３６</td><td>３６</td><td>３９</td></tr>
<tr><td>民俗芸能保存団体数（件）</td><td colspan="2">２</td><td>２</td><td>２</td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・町内の店舗において、町が保管している民俗資料を展示、公開することができた。
・棚倉城築城 400 年記念行事として町文化センターにおいて、「棚倉城と歴代藩主の書」のテーマで町内に遺る貴重な文化財を展示することができた。
・町内幼稚園、小学生、中学生及び転入教職員を対象に町内文化財の案内と説明を行なった。
・町指定文化財として「長久寺山門」、「東照宮（馬場都々古別神社)」、「宇迦神社本殿」の 3 件を指定した。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・年間計画を立て、町民のニーズや関心を踏まえ展示の内容や方法について検討し、観覧者の増加に繋げていく文化財の展示及び企画展を実施する。
・郷土芸能の保存については、後継者の育成は重要な課題の一つであり、常に各団体の状況把握に努め、保存を図っていく。
・町内に文化財について調査を実施し、指定文化財の登録を進める。</td></tr>
</table>

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

施　策　名	文化芸術・文化財	担当課	担当課評　価
主要施策名	歴まち計画に基づく棚倉城跡の保存・活用の推進	生涯学習課	A
第７振興計画における事業目的と概要	・貴重な歴史文化資源を守り、後世に残していくため、「棚倉町歴史的風致維持向上計画」（歴まち計画）や「棚倉城跡保存活用計画」、「棚倉城跡整備基本計画」に基づき、石垣の修繕をはじめ、棚倉城跡や歴史的風致形成建造物の保存・活用に関する各種事業を推進します。		
令和７年度事業実施状況	・棚倉城跡石垣整備検討委員会の開催、棚倉城跡石垣整備に伴う発掘調査及び崩落の恐れのある石垣解体工事の実施 ・棚倉町文化財保存活用地域計画の策定（令和８年度文化庁の認定予定）		
成果実績	令和７年度は、今後崩落の恐れのある石垣（約 70m）の解体と、解体に伴う裏込部の確認調査を実施しました。 調査では築石⇒栗石（裏込め石）⇒盛土の順に三層構造で石垣が構築されている様子が確認されました。 石垣に使用されている石材は、久慈川上流のものと考えられ、大半の石材に加工の跡が確認できました。 令和７年度に回収した石材（築石）の数は 578 石。		
評価の内容	・棚倉城跡石垣整備検討委員会を開催し、災害復旧工事に係る調査結果、工法等について議論した。 ・棚倉城跡の石垣整備工事の適正な施工管理ができた。 ・棚倉城跡の石垣整備事業について広く町民の方に知ってもらえるよう石垣の紹介動画の公開や現場説明会を実施した。		
改善の方策等	・棚倉城跡整備基本計画に基づき、令和５年度から令和１０年度の計画で棚倉城跡石垣整備を実施する。 ・棚倉城跡の石垣整備事業について広く町民の方に知ってもらえるよう現場説明会を実施する。 ・文化財に親しんでもらい、その保護への理解を深めていくために、棚倉城跡石垣修繕整備事業を活用した広報活動を行なっていく。		

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">スポーツ</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">多様なスポーツ活動の普及推進</td><td>生涯学習課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携し、町民総合スポーツ大会や各種スポーツ教室、スポーツイベントの内容充実を図り、町民の参加を促進する。
・誰もが気軽に行えるニュースポーツや時代に即したスポーツなどの普及を図る。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・一般町民への町民総体への参加の呼びかけ。
・東白川町村スポーツ推進委員連絡協議会による新しいスポーツ教室の開催。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td><td></td></tr>
<tr><td>町民総体参加団体</td><td>９団体</td><td>９団体</td><td>９団体</td><td></td></tr>
<tr><td>町民総体参加延べ人数（人）</td><td>９２７</td><td>９４０</td><td>９１８</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・町民総体を実施する競技の中には、一般町民や企業等に声をかけ、多数の参加者を募り交流ができた。
・スポーツ協会及びスポーツ推進委員の中で、会員がそれぞれの役割を認識し活動ができた。
・東白川町村スポーツ推進委員連絡協議会において、新しい競技が年間を通じて実施ができた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・「町民いちスポーツ」を推進、浸透させるため、関係団体との連絡調整や町ＨＰからの広報を通じて推進を図ることが必要。
・人口減少のなかでもあるため、町内だけではなく郡内等に視野を向け、スポーツ人口の交流を図ることで、スポーツコミュニティの向上を進め携わる「人」を増やす。</td></tr>
</table>

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">スポーツ</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">スポーツ施設の充実</td><td>生涯学習課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・総合体育館をはじめ、運動広場やルネサンス棚倉などのスポーツ施設について、改修等を計画的に進めるとともに、有効活用を図る。
・周辺自治体と連携し、スポーツ施設の広域利用を進める。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・棚倉町総合体育館内のＬＥＤ改修
・棚倉町総合体育館内に冷水器の設置</td></tr>
<tr><td rowspan="2">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td><td></td></tr>
<tr><td>総合体育館・運動広場に関する工事修繕費（千円）</td><td>235,139</td><td>4,691</td><td>41,357</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・体育館利用者の不便にならないように、計画的にＬＥＤ改修工事ができた。
・体育館利用者の要望に応え、近年の暑さ対策の一環として冷水器の設置工事を行った。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・現在の多種多様のニーズに応えられるように、直接利用者からの話しを聞き、可能な限り対応できるように調整を図る。</td></tr>
</table>

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">スポーツ</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">スポーツ団体等の活動支援</td><td>生涯学習課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・町民の自主的なスポーツ活動の活発化に向け、スポーツ協会や加盟団体の活動支援や総合地域型スポーツクラブの自立・育成支援を行う。
・町民の多様なスポーツニーズに応えるため、研修会への参加促進等により、スポーツ推進委員の育成確保に努める。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・棚倉町で開催されたウォーキングイベントに棚スポ会員も多数参加し会員の親睦を図った。
・東北地区のスポーツ推進委員研修会において、ニュースポーツの研修等の参加や、同じく参加した東北各県の委員との意見交換を図った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td colspan="2">項目(単位)</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td></tr>
<tr><td colspan="2">棚倉スポーツクラブ登録者（人）</td><td>197</td><td>179</td><td>171</td></tr>
<tr><td colspan="2">棚倉スポーツクラブ各教室参加者（人）</td><td>3,363</td><td>3,144</td><td>2,621</td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・棚スポの会員については、カテゴリー毎の交流だけではなく、カテゴリーを超えての交流をすることで、会員の視野を広げ、それぞれの立場で意見交換をすることができた。
・スポーツ推進委員においては、まずは郡の各委員との交流をメインとし定期的に意見交換を行うことができた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・棚倉スポーツクラブの会員の増を目指し、また新しい事業を計画するにあたりスポーツ振興係と連携し事業を進めていきたいが、各教室の指導者の確保の問題などがあるため、早め早めに課題をクリアできるように連携をする必要がある。</td></tr>
</table>

令和８年度点検・評価表（令和７年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">スポーツ</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">スポーツによる関係人口の拡大</td><td>生涯学習課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第７振興計画における事業目的と概要</td><td colspan="5">・都市部等からのスポーツ合宿やイベント等において、総合体育館や棚倉運動広場等の活用を促進しながら、関係人口の増加に努める。
・町内のスポーツ団体と町外団体とのスポーツを通じた交流を支援する。</td></tr>
<tr><td>令和７年度事業実施状況</td><td colspan="5">・ルネサンス棚倉及び、町内外の団体とも連絡を密にし施設利用の調整を図ることができた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td><td></td></tr>
<tr><td>社会体育施設利用者（人）</td><td>54,906</td><td>55,183</td><td>47,528</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・ルネサンス棚倉の営業担当者と密に連携を取りながら、また、町内外団体と連絡を密に取れたことで施設利用の調整を図ることができた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・施設を絶え間なく有効活用できるようにするために、ルネサンス棚倉に関連する文化センター及び総合体育館の担当者の定期的な会議を実施する。</td></tr>
</table>

棚倉町教育委員会点検及び評価に関する意見書

委員名：渡辺　智夫

施　策	1　学校教育

①学校の適正配置と学校施設・設備の充実

学校教育における施策の実施状況を把握する上で重要な資料です。今後も継続的な評価と改善が求められるため定期的な見直しと関係者間のコミュニケーションを強化することが重要だと思いました。

②教育内容の充実

全体として多岐にわたり実績も伴っていることが評価されるべきです。今後も継続的な改善に向けた取り組みが期待されます。具体的な成功事例をさらに増やし他校との連携を深めることで、より良い教育環境が整うことを願います。

③地域や高校との連携強化

各施策の進捗を定期的にレビューし、成果を具体的に示すことで透明性を高めることが重要です。地域との連携強化に向けたワークショップやセミナーを定期的に開催し、情報共有を促進することを望みます。

④通園・通学の支援

施策全体としては、地域環境の子供達の安全を考慮した良い取り組みであると思います。さらなる改善を目指して、地域との連携を強化し、利用促進を図ることが重要だと思いました。

施　策	2　生涯学習

①学習機会の充実

定期的に地域住民のニーズ調査を行い、講座内容を見直すことも効果的だと思いました。この評価をもとに施策のさらなる充実を図るための具体的なアクションプランを策定することも重要だと思いました。

②青少年の健全育成

全体として、青少年の健全育成に向けた施策は効果を上げているものの、さらなる参加者拡大やプログラムの質向上に向けた取り組みが求められます。

③図書館の充実と読書活動の推進

評価表は施策の効果を示す良い指標となっており、今後の施策改善に向けての具体的な提案も含まれているため非常に有意義だと思います。

④社会教育団体等の育成支援

全体的に、地域の教育や文化活動の支援に対する意欲が感じられる評価表であり、今後の展開に期待が持てる内容だと思いました。

棚倉町教育委員会点検及び評価に関する意見書

委員名：渡辺　智夫

施　策	3　文化芸術・文化財

①文化団体等の活動支援

評価は良好であり、多くの成果が上がっているが、さらなる改善点が存在することを考慮する必要がある。特に未加入団体へのアプローチや若年層の参加促進が今後の課題でこれらの点に注力することで文化芸術活動がさら発展することを期待します。

②文化芸術の充実

文化芸術の施策が多くの参加者を集め、成功を収めていることでさらなる多様性と地域との連携が求められます。これを踏まえた改善策を講じることで、充実した文化芸術の振興が期待されると思いました。

③文化施設の充実

地域とのさらなる連系や評価基準の明確化などの意見を元に、施策のさらなる向上と地域文化の発展に寄与することを期待します。

④文化財の保存・活用

文化財の保存に対する取り組みは評価されますが、さらなる地域貢献に向けての改善を期待します。

⑤歴まち計画等に基づく棚倉城跡の保存・活用の推進

具体的な行動計画を示すことで地域の文化財保護に対する意識を高めることを期待します。

施　策	4　スポーツ

①多様なスポーツ活動の普及促進

地域のｽﾎﾟｰﾂ活動を促進し、住民の健康促進に寄与するものとし評価します。今後も参加者の声を反映しさらなる改善を図ることで、より多くの住民がｽﾎﾟｰﾂを楽しむ環境を整えることが期待されると思います。

②スポーツ施設の充実

地域のｽﾎﾟｰﾂ施設の運営において重要な指針だと思います。今後も利用者のニーズを的確に捉えた施策を展開し地域に密着したｽﾎﾟｰﾂ環境の整備が進むことを期待します。

③スポーツ団体等の活動支援

ｽﾎﾟｰﾂ活動が地域社会に貢献していることが伺えますが、さらなる成長のためには会員の増加や指導者の確保が重要であると考えます。今後も継続的な意見交換と改善策の実施が期待されます。

④スポーツによる関係人口の拡大

施策は地域のｽﾎﾟｰﾂ活動を活性化させる方向に進んでおり、今後の展開に期待が持てます。引き続き、参加者のニーズに応じた柔軟な対応と地域との連携を強化していくことが求められます。評価表に基づく施策の改善に役立つことを願っています。具体的な数値や実績を元にした意見は今後の活動をより効果的にするための基盤になると思います。

棚倉町教育委員会点検及び評価に関する意見書

委員名：　戸井田明子

施　策	1　学校教育

【主要施策】

①学校の適正配置と学校施設・設備の充実　②教育内容の充実
③地域や高校との連携強化　④通園・通学の支援

統合の進捗周知が不足している印象が私自身あり、説明会だけでなく進捗状況を
わかりやすくまとめ広報等に掲載しても良いと思います。
分教室においては、頑張って学校に行ったとしても居場所が保健室で、学ぶ環境では
なかった生徒が不安がらず登校できていることは大きく評価したいです。

部活動の地域移行については、私自身も委員をさせていただいていますが、保護者や生徒
が優勝成果を望む部活にするのか熱量を均一にするのは簡単ではなく、
文化部に関わる感性ある指導者確保・育成は非常に難しい問題だと感じています。
通学距離について文部科学省の目安よりきめ細かく支援している点は評価できます。
中学生の部活後のバスは家族の迎えに頼っているのだと思いますが、なぜ利用が
少ないのか調べ改善の必要があると思います。

施　策	2　生涯学習

【主要施策】

①学習機会の充実　②青少年の健全育成
③図書館の充実と読書活動の推進　④社会教育団体等の育成支援

多様な講座の実施など、情報発信と実践の両面で取り組みが進んでいる点が評価できる。
チャレキッズについて少子化に伴い対象を小学校5・6年生に限定せず、4年生も加え
参加機会の裾野を広げることはいかがでしょうか。
図書活動について読書量だけではなく、本との関りとして沢山読めない子も楽しめるよ
うに、ひと言感想カードやおすすめ本の紹介カード記載掲示でポイントやシールがもら
えるのも楽しいと思います。

④の活動費助成、施設使用料減免、運営サポート等、基本的な支援は実施されている。
新規立ち上げへのアドバイスは良い方向性。具体的に設立相談窓口や
初期活動費の助成などを組み合わせると実効性が高まるのではないでしょうか

棚倉町教育委員会点検及び評価に関する意見書

委員名：　　戸井田明子

施　策	3　文化芸術・文化財

【主要施策】

①　文化団体等の活動支援　　②文化芸術の充実　　③文化施設の充実
④文化財の保存・活用　　⑤歴まち計画等に基づく棚倉城跡の保存・活用の推進

今後も加入数の維持が課題になると思いますが、活動の場の提供と情報発信は機能していると思います。
人材バンク・社会教育団体・青少年育成は相互に関連が深く、課内で情報共有し相乗効果を高めていただきたい。

子どもたちの文化芸術接触機会を確保し、幅広い年齢層向け自主事業で来場者を呼び込んだ点を評価したい。文化センターの大規模修繕工事を終え運営協会会長として今後も広域を意識した運営を実施したい。

地元の文化財や歴史を児童生徒・転入職員向けに案内・説明をするのは良い機会だと思います。城跡があるということは貴重で町の強みでもあり、今後他の史跡も含めた保全と管理、観光情報として廻れるマップがあってもいいと思います。

施　策	4　スポーツ

【主要施策】

①多様なスポーツ活動の普及促進　　②スポーツ施設の充実
②　スポーツ団体等の活動支援　　④スポーツによる関係人口の拡大

町民総体の延べ人数が一定の参加を保てていることは評価したい。
「町民いちスポーツ」の推進のため広報の必要があると感じます。
年代別の運動イベントや教室、ウォーキング、個人的に興味があるのは親子向けにスポーツ鬼ごっこなどを開催し、全ての催しに「町民いちスポーツ」と冠を付けて広く周知するのはどうでしょうか。

改善方策の定期的な会議実施で、合宿誘致のためのパッケージ提案や旅行業者との連携等具体化してもいいと思います。また、総合体育館・ルネサンス棚倉が部活動移行の拠点として運営開放していければと思います。

棚倉町教育委員会点検及び評価に関する意見書

委員名：　塩田　綾子

施　策	1　学校教育

【主要施策】

①学校の適正配置と学校施設・設備の充実　②教育内容の充実
③地域や高校との連携強化　④通園・通学の支援

① 各園、学校の要望する施設修繕が実施されている点は評価すべき点に値すると思われます。ただ、またまだ、統合までには、現存の学校を学びの場として利用していきますので、出来る範囲での安心、安全な環境づくりの為、修繕、整備等は実施して頂きたいと思います。

学習用タブレット端末機の更新に伴う購入、変更はスムーズに実施されたかと思いますが、中3生においては、わずか数日の為に手続きしなければいけなかったのが少し疑問に感じました。

小中学校統合については、委員会等の開催、義務教育学校の視察等で各委員の方々の一定の理解は得られたと思いますが、町民の関心度、説明不足については課題かと思われます。賛否、多種多様な意見があると思いますので、統合委員会での念密な意見交換、検討、また、保護者、住民の方への説明を、もっと周知、細やか、丁寧にしていく必要かあると思います。

② 架け橋期カリキュラム開発検討委員会等を通して、幼稚園教育の充実と質の向上を図り、幼から小への繋がりに対応されているのは良い点かと思われます。ですが、ご存知かと思いますが、小6から中1への壁も難しいものであり、そのつまづきが、学力低下、環境変化から不登校などの発生に繋がる要因になり得ますので、そこの連携強化にも努めて頂きたいです。

不登校児、支援の必要なお子さんへの対応は、細やかになっていると感じますが、今後も、その対象となるお子さんや家庭への対応を、他管轄課と協力しあい、対応、補って頂きたいと思います。

学校給食においては、残食も多いと伺っていますが、食への教育、また、給食費の無償化や物価高騰が、今後、どう結果として出るのか進捗状況を教えて頂きたいと思います。

③ 少子化により、やりたい部活動が出来ない環境になりつつあると感じます。地域移行と言っても外部指導員の確保なども限界があるかと思います。町を超えて、郡内連携でのクラブ運営や部活数の精査などを学校と協議しあいながら進めていく必要があるのではないでしょうか。

学校、職員、PTAだけではやりきれない活動に、地域連携が大切かつ必要になってくると思われます。各学校で充実した活動、協力が出来るように、フォロー、サポートに尽力頂きたいと思います。保〜高までの連携、キャリア教育を進めているとありますが、幼〜中までは確立されている中で、一貫したキャリア教育の根っこである保育園、中学からその先の将来へ繋がる場所である高校においても、関係機関の違いがあるので難しい面もあると思いますが、協力体制、連携を明確にしっかりと実施して頂きたいです。

④通園、通学のかたちが変化しつつあり、保護者送迎が多い中で、送迎場所の確保、近隣住宅への配慮、安全な状況での通園、通学であって欲しいです。同時にスクールバスの運用の見直し、子ども達の大切な命を預かっている以上、ドライバーの高齢化、安全運転等、十分に留意して頂きたいです。

棚倉町教育委員会点検及び評価に関する意見書

委員名：　塩田　綾子

施　策	2　生涯学習

【主要施策】

①学習機会の充実　　②青少年の健全育成

③図書館の充実と読書活動の推進　　④社会教育団体等の育成支援

① 地域だけでなく、学校でもボランティアを要請したいが不足し、人員確保に苦慮している時もあるので、人材バンクの充実、学校など各所との連携、情報提供を拡充し、地域連携のひとつとして、活発な活動を促して頂きたいと思います。

② 評価がＢということですが、少子化、各種スポーツ少年団への入団者増などからいくと、子ども会参加、体験、交流活動の幅が狭まるのは仕方ないかなと思います。
しかし、地道な活動アイデアの提案、告知、実施していくことは継続して頂きたいと思います。
他の活動の評価、改善の方策等については記載通りで良いかと思います。

③ 成果実績については、現代の状況に見合った結果なのかなと感じます。
図書館での読み聞かせやイベント開催などは、定期的に実施されることで、図書館利用者増や利用しやすさに繋がりますので良いと思います。

その他、会議室の多様な活用、学生の勉強の場としても、町民にとって、重要な役割を担った場所となっています。引き続き、充実した施設として存在していて欲しいと思います。

④ 育成支援というものが正直、明確に見えないです。どのような位地づけにあるのか、支援拡充出来るのかにより、各団体の活動も変わってくるかと思います。
もう少し、深掘りした関わりを求めます。

棚倉町教育委員会点検及び評価に関する意見書

委員名：　塩田　綾子

施　策	3　文化芸術・文化財

【主要施策】
①文化団体等の活動支援　②文化芸術の充実　③文化施設の充実
④文化財の保存・活用　⑤歴まち計画等に基づく棚倉城跡の保存・活用の推進

① 文化団体、活動の町民への発信、提供を幅広く実施し、知ってもらい、参加出来る機会を増やして頂きたいです。

② 倉美館改修も終了したと思うので、今後、多種多様なジャンルの公演等を計画、開催して頂けることを願います。

③ 倉美館大ホールの利用だけでなく、施設全体で行事や催しが開催出来ると思いますので、計画実施して頂いたり、町内外の方の有効な活用場として活発に提供して頂きたいと思います。

④ 築城400年行事が歴史に基づき、色々と開催、成功されたこと、棚倉町を知って頂いたり、町内外からの集客があったことは良かったと思います。
町の重要な指定文化財の保存を管理者と連携し、しっかりと実施して頂きたいと思います。歴史建造物が多く城下町である本町は、町民にとっても誇りある町であり、観光客誘致の要であります。

⑤ 中学校の敷地に面している点で当初は心配、不安要素もありましたが、特に問題なく、進められていることは良いと思います。今後も現場説明会やHP、広報などで町民の方に知って頂き、改めて城下町棚倉の良さ、理解を深めて頂けるようにお願いします。

施　策	4　スポーツ

【主要施策】
①多様なスポーツ活動の普及促進　②スポーツ施設の充実
③スポーツ団体等の活動支援　④スポーツによる関係人口の拡大

①③ 「町民いちスポーツ」、棚スポ会員の推進、浸透を更に図り、町民の健康づくりの為、参加しやすいスポーツを告知、参加者増に努めて頂きたいです。

② スポーツ施設、設備充実を図っていることは良いことかと思いますが、町民が気軽に使いやすい環境でもあって欲しいと思います。また、管轄外かもしれませんが、災害時の避難施設としての役割も担っていると思いますので、有事の備え、対応がスムーズに進められる施設であることも望みます。また、プールがルネサンス棚倉内、学校にしか無いので、地域の方が利用しやすいプールが無いことは、少し残念に思います。

④ 近年、様々な状況、変化の中で、スポーツ大会の開催や合宿利用団体の集客など難しいかと思われますが、成果実績としては良いのではないでしょうか。
今後も継続的な施設利用、関係人口の集客を図る為にも、各施設間での連携、誘致に尽力頂ければと思います。その為にも、町民のスポーツ参加者増加推進も大切かと思います。